

第1回 苅田港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画協議会 議事概要

日時：令和4年10月24日（月）14:00～16:00
場所：ブルーポートホテル苅田北九州空港（会議室ダイヤモンド）
開催形式：対面及びWebの併用

【議事概要】

（議事4：規約）

事務局より、規約（案）を説明し、構成員の承認を頂いた。

（議事5－1：苅田港CNP検討会について（振り返り））

事務局より、昨年度に実施した検討会の振り返りと、今後の進め方を説明し、確認を行った。

＜構成員＞苅田港でのCO2排出量はどのくらいか。また、それにはトラックや船、荷役機械、工場の生産活動も含むのか。

＜事務局＞昨年度、企業へアンケートを実施し、2020年時で740万トンである。トラックや船、工場の生産活動からのCO2排出量が含まれている。

＜構成員＞水素やアンモニアの受入施設等の配置イメージがあるが、受入のビジョンがあるのか。地産地消を視野に需要と供給のバランスを見ながら考えた方が良いのでは。

＜事務局＞あくまで現時点のイメージであり決まったものではない。今後、そのような課題も含め協議を行い決めていきたい。

（議事5－2①：最近の動向 国におけるCNP形成の取組について）

国土交通省九州地方整備局苅田港湾事務所より、国（港湾局所管）におけるCNP形成の取組について説明いただいた。

- ・ CNP をとりまく背景
- ・ CNP 形成に向けた取組
- ・ 「施策の方向性」「マニュアル」概要
- ・ CNP 形成に資する主な支援制度等

（議事5－2②：最近の動向 福岡県水素グリーン成長戦略について）

福岡県商工部より、福岡県水素グリーン成長戦略について説明いただいた。

- ・ 水素戦略に関する世界各国および日本の動向
- ・ 福岡水素エネルギー戦略会議の成果

2004年に設立し、現時点で865団体が会員となっている。産学官一体となり研究開発、新産業の育成・集積など総合的に推進。

- ・福岡県水素グリーンイノベーションサポート窓口の紹介
九州大学等と連携し、水素関連分野への参入等に向け、助言やマッチングをワンストップで行う。
- ・水素製品導入促進研究会について
苅田港 CNP 形成計画協議会メンバーを対象に今年度中に研究会を開催する。

(議事5-3：苅田港 CNP 形成の取組)

事務局より、苅田港 CNP 形成の取組について説明を行った。

- ・協議会の進め方
今後も引き続き協議会を実施し CNP 形成計画を策定する。策定後も、社会情勢等を考慮し、随時、内容の更新を行う。
- ・アンケート調査の結果
昨年度実施したアンケート結果から、各企業の脱炭素化に向けた取組や課題について大きな変更点は無かった。
- ・CNP 形成計画（素案）
CNP 形成計画に掲載する内容（目標値やスケジュール等）のイメージの共有を行った。今後、形成計画策定のため構成員にアンケートを実施する予定。

<構成員>次世代エネルギーの需給バランスの精査が必要。港湾整備のみ進めても、受け入れ先の対応が整っていない。港湾を起点とした裾野の広い需給構築を進めるべき。

<事務局>ご意見を参考に今後議論を進めていきたい。

<構成員>ロードマップの実証実験は具体的に何か想定しているのか。

<事務局>具体的な内容や参加企業については今後検討を行っていく。

(議事5-4：意見交換（先進企業の取組、脱炭素化の課題）)

構成員3社より、カーボンニュートラルに関する先進的な取組について講演いただいた。

- ・国際水素サプライチェーン構築に向けた取組
- ・港湾エリアにおける水素利活用モデルの構築を目指した事業の紹介
- ・燃料アンモニア関連の取組やカーボンリサイクル技術の取組